

日本展示学会第 27 回研究大会

大会テーマ

「いま、展示に求められること」

■会 期：2008年6月21日(土)
■会 場：愛知大学豊橋校舎
■主 催：日本展示学会
■協 力：愛知大学

<プログラム>

◆受付 9:30～10:30

愛知大学 豊橋校舎 (〒441-8522 豊橋市町畑町1-1)
<http://www.aichi-u.ac.jp/profile/05.html>

◆自由見学 9:30～16:00

愛知大学東亜同文書院大学記念センター展示室(大学記念館)
民具陳列室(5号館3階 530号室)

◆研究発表 10:40～15:00(昼食 12:15～13:00)

◎会場A(5号館1階 510号室)

- 10:40～11:00 「展示装置の設計データ構築に関する研究」
本橋康直(拓殖大学大学院)・寺澤勉・白石照美(拓殖大学)
- 11:05～11:25 「展示改装に導入した「複合交差型展示」」
松岡敬二(豊橋市自然史博物館)
- 11:30～11:50 「複合現実感による新旧学説の対比展示
—国立科学博物館「帰ってきたアロサウルス展」における事例—」
近藤智嗣(メディア教育開発センター)・有田寛之・真鍋真(国立科学博物館)
水木玲(トランスファーオービット)
- 11:55～12:15 「河川実験施設におけるフィールド解説手法の提案
—自然共生研究センターの研究成果を題材として—」
真田誠至・萱場祐一(土木研究所自然共生研究センター)・吉富友恭(東京学芸大学)
- 13:00～13:20 「次世代ミュージアムの想像に向けた施設構造の研究③
学校の後利用施設におけるミドルヤードの具現化」
洪恒夫・松本文夫・石田裕美(東京大学総合研究博物館)
- 13:25～13:45 「筑波大学体育ギャラリー STの開設とその展示計画」
輿水愛子・志村春海・木村浩(筑波大学芸術学系)
- 13:50～14:10 「展示と空間の特定—空間の情報メディアとしての展示の特性—」
草刈清人(株式会社丹青社)
- 14:15～14:35 「人文系ミュージアムの展示学的課題」
端信行(兵庫県立歴史博物館)
- 14:40～15:00 「仮鎌倉博物館におけるGPSケータイ用鎌倉フィールドミュージアム展示システム」
長澤可也・長谷川聡(湘南工科大学)

◎会場B(5号館1階 511号室)

- 10:40～11:00 「ショーウインドウの機能について—京都・大阪の百貨店を事例として—」
木下恵梨子(株式会社IPSA)・木下達文(京都橘大学)
- 11:05～11:25 「工場の夜景に魅せられて
—観光資源としての工業地帯の夜景景観の演出とその鑑賞手法の研究—」
古賀あけみ・柘植喜治・成木恵理子・平本知樹・八巻慎太郎(千葉大学)
- 11:30～11:50 「つくば市北条の地域活性化事業「北条ふれあい館 岩崎屋」について」
青柳由佳・豊川尚・木村浩(筑波大学大学院)
- 11:55～12:15 「つくば市北条の地域活性化事業について」
豊川尚・青柳由佳・木村浩(筑波大学大学院)
- 13:00～13:20 「博覧会(地域プロジェクト)とキャラクター
—平城遷都1300年記念事業キャラクター「せんとくん」の課題と今後について—」
木下達文(京都橘大学)
- 13:25～13:45 「三鷹の森ジブリ美術館の特殊入場制度における有効性と課題について」
後藤麻美(リゾートトラスト株式会社)・木下達文(京都橘大学)
- 13:50～14:10 「博物館におけるコンテンツライセンスマネジメントの研究
—主に知的財産権の活用しにくい領域について—」
高橋和子(株式会社ジェイアール東日本企画)・杉光一成(金沢工業大学大学院)
- 14:15～14:35 「デジタル・ツールによる美術の教育普及」
馬場暁子(名古屋大学大学院)・伏見清香(広島国際学院大学)・茂登山清文(名古屋大学大学院)
- 14:40～15:00 「地域におけるミュージアム活動のあり方—千葉県を例として—」
箕輪麻理子・清水忠夫・佐藤公信(千葉大学)

◆フォーラム 15:10～17:10

- ◎フォーラムA：博物館展示 (5号館4階 541号室)
◎フォーラムB：商業ディスプレイ(5号館4階 543号室)
◎フォーラムC：まちづくり(5号館3階 53C室)

◆会員総会 17:20～17:50 (5号館1階 510号室)

◆懇親会 18:10～20:10 (逍遙館2階)

* プログラムは都合により変更になることがあります。